

行田税務連絡協議会長賞 優秀

明るい未来

行田市立長野中学校

三年 金子 琉生

日本では、今までにたくさんの方々が被害にあってきました。そのたびに、人々は協力し、助け合い、被災地の復興を進める活動を行ってきました。その活動も税金があるおかげで行われてきたことを最近知りました。

僕は八年前の「あの日」のことを、はっきり覚えています。あの日、三月十一日、東日本大震災が起こった日のことを。僕はあの日まだ小学校には入学しておらず、保育園に居ました。その日は、いつもと変わらない、ただ当たり前の日でした。お昼ごはんを食べ終え、いつもと同じように遊んでいました。それは突然起こりました。部屋が「ミシッ」と大きな音をたて、大きく揺れました。壁に掛けてあった時計や、絵が落ちてきました。薄暗い部屋に、泣き声と叫び声が響きわたりました。僕は何が起こったのかわからず、家族が無事なのか、とても不安な気持ちになりました。こんなに怖い思いをしたのは初めてでした。

東北地方では津波が押し寄せ、多くの命が奪われました。家も車もみんな流されました。

八年たった今でも、仮設住宅で暮らしている人がたくさんいます。「もう八年」「まだ八年」と感じ方はそれぞれだと思いますが、復興を進めなければ、明るい未来はやってきません。そのた

めには、税金が必要です。今までも、様々な復興活動に税金が使われてきました。がれきの撤去作業や、学校や病院などの施設の建設など使われ方は様々です。一つ一つの活動が人々を助けているのです。税金は「今」を変え「未来」をつくります。

母から聞いた話ですが、大人でも税金についてよく理解していない人が多く、しつかりと税金を納めない人もいます。明るい未来のためにも、一人一人がしっかりと税金を納めることが大切だと思います。税金といっても所得税や法人税、相続税、自動車重量税など様々な種類があります。そして、私たちの身近な税として消費税があります。十月から消費税が十パーセントに引き上げられます。「増税」と聞くと、マイナスなイメージを持つ人もいるかもしれませんが、僕はプラスだと思いません。なぜなら被災地の復興の手助けが少しでも増えるからです。僕は税金がこんなにも人々の生活を支えていると知り、税金に対するイメージが変わりました。税金を払ってくれている人たちに感謝したいです。

そして、明るい未来をつくるために、今から税についてよく理解し、少しでも人々の役に立てたいと思います。